

【担当教員】

伊藤 敦美

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟1号棟509号室

【授業目的および達成目標】

〔授業目的〕

高等学校教員としての豊かな見識を備え、担当教科（工業科及び情報科）に対する十分な知識と高度な技能を身につけ、教員としての使命感や情熱及び責任感溢れる教員を育成することを目的とする。

〔達成目標〕

- （１）教職課程の履修を振り返り、教員としての個別課題を設定し、それを解決する。
- （２）教育実習における事例研究、生徒理解に関する役割演技を通して、教職の意義及び教員の役割の理解を深め、生徒理解及びホームルーム経営に関する実践的対応力を身に付ける。
- （３）模擬授業を行うことを通して、教科に関する実践的指導力を定着させる。

【授業キーワード】

事例研究 模擬授業 役割演技 グループ討論

【授業内容および授業方法】

〔授業内容〕

教職課程の履修履歴及び教育実習における諸経験を振り返ることにより、教員としての個別課題を設定する。その後、教育実習における事例研究を行ったり、生徒理解に関する役割演技を行ったりすることを通して、教職の意義及び教員の役割の理解を深めたり、生徒理解及びホームルーム経営に関する実践的対応力の定着を図ったりする。さらに、模擬授業を行うことを通して、強化に関する実践的指導力の定着を図る。

〔授業方法〕

- ・ 教育的課題に対する自主的な探究と考察を促すために、受講生による発表・討論を中心に授業を進める。
- ・ 役割演技を通じて、教育的課題についての理解の深化 および教員としての諸役割の認識、責任感の涵養を促す。
- ・ 模擬授業を実施する。
- ・ 授業参観及び学校見学、質疑等を行うことにより教育現場における諸課題について理解する。

【授業項目】

- 第1回 学生の教職科目履修履歴の確認及び「教職実践演習」の意義と役割についての理解
- 第2回 教育実習の体験報告及び実習校における実習授業・教育方法・生徒理解についてのグループ討論
- 第3回 教員としての個別課題の把握と解決のための方策の検討
- 第4回 教職の意義及び教員の役割に関する研究①服務・勤務、使命感、責任感、教育的愛情
- 第5回 教職の意義及び教員の役割に関する研究②社会性、対人関係能力
- 第6回 生徒理解及びホームルーム経営に関する研究①教育実習校における生徒指導に関する事例検討及び役割演技
- 第7回 生徒理解及びホームルーム経営に関する研究②教育実習校におけるホームルーム経営に関する事例検討及び役割演技
- 第8回 学校現場における実践的課題と対応①高等学校（授業見学及び質疑）
- 第9回 学校現場における実践的課題と対応②特別支援学校（授業見学及び質疑）
- 第10回 ゲストスピーカー（現職教員等）による学校運営・ホームルーム経営・生徒理解等に関する講話及び質疑
- 第11回 教科の指導力に関する総合的研究①学習指導案の作成及び検討
- 第12回 教科の指導力に関する総合的研究②模擬授業の実施
- 第13回 教科の指導力に関する総合的研究③模擬授業の実施及び相互評価
- 第14回 事例研究：教育現場における過去の事例（事件）の分析と考察。レポート作成及びグループ討論
- 第15回 教員としての資質・能力に関する全体的確認

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

岩崎保之編著「教育・保育の基礎を学ぶ」国際文献社、2018年。

【参考書】

高等学校学習指導要領（平成30年告示、文部科学省）

文部省『特色ある教育活動の展開のための実践事例集（中学校・高校編）』1999年。

国立教育政策研究所教育課程研究センター『総合的な学習の時間実践事例集（高等学校編）』ぎょうせい、2003年。

宮崎和夫編著『教職論 教員を志すすべてのひとへ』ミネルヴァ書房、2000年。

藤本 典裕 編著「教職入門 教師への通」図書文化社、2019年。

【成績の評価方法と評価項目】

期末レポート（40%）、講義中の課題（20%）、模擬授業（20%）、学習姿勢（20%）により評価する。

期末レポートのテーマ、書式等は授業中に指示する。学習姿勢は、授業に臨む構え、授業中の発言や学習活動への取組状況、欠席状況などをもとに評価する。

【留意事項】

教育実習履修者は、実習後本科目を履修すること。

履修カルテを持参すること。

【参照ホームページ名】

平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）

【参照ホームページアドレス】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

【備考】

特になし。

【ディプロマポリシーとの対応】

- 【】 1. 理数の技法と技術科学の見方
理数とデータサイエンスの概念・技法の習得、及び社会を支える様々な技術の科学的理解。
- 【】 2. 思考力・表現力と社会的視野
理解・思考・表現・対話の基礎である言語・論理力の習得、及び技術と社会、安全、環境との関わりの理解。
- 【】 3. 専門の基礎力
技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び情報技術を使いこなす能力の習得。
- 【】 4. コミュニケーションと協働の力
英語による技術コミュニケーション基礎力、及び国際感覚を持ちチームで協働できる能力の習得。